

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームかざぐるま

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

金子 清

評価完了日

平成 20 年 3 月 20 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年4月22日

【評価実施概要】

事業所番号	3873700268		
法人名	医療法人 青峰会		
事業所名	グループホーム かざぐるま		
所在地	西宇和郡伊方町大久1391-1 (電話) 0894-53-0645		
管理者	金子 清		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成20年4月3日	評価確定日	平成20年4月22日

【情報提供票より】 (平成20年3月20日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成14年10月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8人	常勤	8人, 非常勤 0人, 常勤換算 8.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	9,600 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		
(3)利用者の概要 (平成20年3月20日現在)			
利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	0 名	要介護2	3 名
要介護3	5 名	要介護4	1 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83.55 歳	最低 66 歳	最高 103 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり (なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>事業所は、窓が多い造りで、海が見える開放感のある雰囲気となっている。 お花見や外食等、月に一回、出かける機会を作り、楽しんでおられる。日々、散歩されたり、隣接の保育園の園児が園庭で遊ぶ様子を見られたり、地域の高齢者がゲートボールをされている様子を観戦しておられる。 ゴミ出しをされる方や食後の洗い物や片付け、自室の掃除をされる方もおられる。カラオケを楽しまれたり、調査訪問時には、ケーブルテレビで地元の様子が放映されるのを、楽しく見ておられる様子がうかがえた。</p>

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の評価結果を受け、改善計画を作成し、特に介護計画作成時に、ご家族の意思をうかがうよう取り組まれた。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・管理者はミーティング時、職員の意見を聞きながら自己評価を作成された。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・これまで3回の会議を開催されており、小学校の校長先生等の出席もいただいた。入居のための条件や活動の報告等をされた。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・利用者個別に日々の様子や状態、又、写真等も採り入れ、ご家族に報告されている。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・地域の方が、ご家族の介護や介護保険のこと等について相談に訪れることもある。近くのスーパーによく出かけ、事業所のことを知っていただけるよう努めておられる。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 認知症であっても、地域の中で当たり前のように暮らせるようなことを謳った理念をつくりあげている。		日ごろ取り組んでいるサービスの内容を地域の方々により理解していただけるよう、さらに取り組んでいきたい。
			(外部評価) 事業所では、利用者が地域の中で当たり前のように暮らせるよう支援することを理念に掲げ、又、地域の方達が事業所に気軽に立ち寄れるような事業所を目指しておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 事務所やホールに掲示して、常に実現に取り組んでいる。		
			(外部評価) 管理者は、事業所の理念を日々のケアの中で職員に話し、共有できるよう努めておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 地元での保育所、小学校等との交流を通して、父兄や地域の方々を紹介するように心掛けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 毎日の食材の買出し、ゴミ出しや散歩などの際に近隣の方と挨拶を交わしたり、話しをしている。		もっと気軽に隣近所の人たちが立ち寄ってもらえるような機会をつくるように努めたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の保育所、小学校の運動会、学芸会や夕涼み会など参加している。 (外部評価) 地域の方が、ご家族の介護や介護保険のこと等について相談に訪れることもある。近くのスーパーによく出かけ、事業所のことを知っていただけるよう努められる。		事業所では、今後さらに、ご近所の方達との関係を深めていきたいと考えておられる。さらなる交流から相互の協力体制等も築いていかれてほしい。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 学校の介護実習や施設訪問受入れ等の際、グループホームでの高齢者の生活や認知症について説明をして理解を深めてもらうようにしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 全員で自己評価に取り組み、ホームの良い点や足りない点などを認識して、より良いケアに努めている。 (外部評価) 管理者はミーティング時、職員の意見を聞きながら自己評価を作成された。前回の評価結果を受け、改善計画を作成し、特に介護計画作成時に、ご家族の意思をうかがうよう取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			利用者の状況、サービス内容、活動報告などを行い、出席者の方から率直な感想や意見を出していただくように努めている。		
			(外部評価)		
			これまで3回の会議を開催されており、小学校の校長先生等の出席もいただいた。入居のための条件や活動の報告等をされた。		事業所では、会議への地域の方からの参加を増やしたいと考えておられる。さらに事業所のことを知っていただき、いろいろな意見を出していただけるよう、取り組みをすすめていかれることが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			入居者の入退去や介護認定更新の際の情報共有、感染症予防や事故防止等の取り組みで連携している。		
			(外部評価)		
			運営推進会議では、地域包括支援センターの担当者が、センターの役割等について話して下さった。又、会議時、皆から意見がいただけるよう促して下さった。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			機会あるごとに研修会に参加して、ミーティング等で説明し理解できるように取り組んでいる。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			勉強会や、ミーティングで機会あるごとに課題にあげて防止に努めている。(就業規則の罰則規定もあり)		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を实践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入退去の手続きの際は、相手の立場にたって丁寧に説明して納得できるように努めている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員の訪問時や家族の面談の際など話を聞いてもらっている。苦情箱などの設置もしている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 月一度の入居料の案内と併せて、利用者の暮らしぶりや状態を写真や手紙にして報告している。状態に変化があれば、その都度電話で連絡を取っている。		
			(外部評価) 利用者個別に日々の様子や状態、又、写真等も採り入れ、ご家族に報告されている。		さらに、ご家族に事業所全体の取り組みを、知っていただけるような工夫も期待される。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族の来訪時、意見や要望などを遠慮無く申し出て頂けるような対応や雰囲気作りに努めている。出た意見は月一度のミーティングなどで話し合うようにしている。申し送りノートなどの活用もしている。		遠方等の理由で来訪が数少ない家族には、月一度の近況報告に並行して、意見や要望などを聞き出せる工夫も進めていきたい。
			(外部評価) ご家族の来訪時、ご本人の日々の様子を伝え、要望を出してもらえよう働きかけておられる。		さらに事業所では、ご本人とご家族との関係作りに向けて、取り組んでいきたいと考えておられる。今後も、ご家族から意見を出してもらえよう工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回のスタッフ会議で意見や要望を聞いている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の状況に合わせて対応するよう努めているが、職員数が少ないのが現状で、柔軟な対応が難しい場合もある。		必要な人員を確保して、利用者のペースに合わせた支援をしたい。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 開設以来の職員も多く、利用者との馴染みの関係が出来ている。代わった場合は利用者との関わりを出来るだけ持つ様にして早く馴染んでもらえるような努力を各自している。		
			(外部評価) 開設時からの職員もおられ、職員と利用者は馴染みの関係となっている。時に、仲の良い利用者が入院等で事業所におられない日が続く、少々落ち着かない日々を過ごした方もおられるが、職員が寄り添い、気持ちが和むよう対応に心がけられた。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 法人内の研修や勉強会、グループホーム協会の研修を順次受けるようにしている。		
			(外部評価) 月1回、事業所で会議を開き、外部研修の報告や利用者個々のカンファレンス等を行なっておられる。法人内の研修は2か月に1回行われており、介護や医療について学んでおられる。さらに、管理者や先輩職員が日々、ケア等について職員にアドバイスされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			法人内のグループホーム管理者の連絡会や、運営推進会議に地域の同業者を招いて情報交換を行いサービスの質の向上に努めている。		
			(外部評価)		
			ドライブ時、トイレ休憩で法人内の事業所に立ち寄られることもある。地域のグループホームの職員同士で、相互に運営推進会議に出席されている。		さらに今後、管理者は、職員が他の事業所のことを知ったり、利用者が他の事業所の利用者と交流できるような機会を作っていきたいと考えておられた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			院内旅行、忘年会、職員親睦会などに参加して気分をリフレッシュする機会がある。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			年2回の職能評価を実施し、各自が向上心を持って働けるように努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			本人の思いや、いままでの生活歴などを出きただけ聴く機会をもち、適切なケアの方法を探し出すよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		<p>初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族の思いや、必要としていることを、よく聴くようにしてホームで出きるサービスを説明するようにしている。</p>		
25		<p>初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ホームで対応出来ないケースの場合は、他の機関に相談したり、紹介するように努めている。</p>		
26	12	<p>馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>見学に何度かきていただき、環境や場の雰囲気に馴染んで頂くようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>入居間もないころには、ご家族と電話で話す等、安心していただけるよう支援しておられる。月1回、ご自宅に戻られる方もおられる。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>					
27	13	<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>料理や掃除など、利用者と職員は協力し合っている。昔の出来事や地域行事など、職員は利用者から色々教わったりしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は、利用者から郷土料理のことを教えていただいたり、祭りや礼儀について教わることもある。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 来訪時や電話連絡などの際に近況を伝えて、それについての意見や要望を出してもらうようにしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族来訪時は、居室でゆっくりと話しをしたり、表に散歩に出たり出来るような雰囲気作りをしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 一人ひとりの希望の場所に出かけることは、人員のやりくりの面で困難である。		家族と話し合い、連れて行っていただいたり、知人が来訪するよう協力依頼する。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者それぞれの相性や、得手不得手を把握し、より良い関係が持てるように支援している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) いつでも来訪していただけるよう、声掛けや連絡など行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の関わりの中で意思疎通が困難な方にも、本人の視点に立って行動や表情などから、思いや意向を推し測るようにしている。		
			(外部評価) 利用者個々の好き嫌いや希望等を聞き取っておられる。職員は、夜間等ゆっくり利用者の話に耳を傾けておられる。		さらに、利用者一人ひとりが、その人らしく暮らし続けるために、思いや意向を引き出せるような取り組みの工夫を重ねていかれることが期待される。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所時に本人や家族から生活歴などを聴き取るようにしている。入所後も昔の話や若い頃の思い出などの会話を通して本人の生活歴や価値観などを把握している。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 利用者一人ひとりの、その日の過ごし方、体調、行動、言葉など記録をとり、変わった事や気づいたことなどを毎日申し送りをして職員全員が把握できるようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) スタッフ会で利用者個々の状態を踏まえて意見交換を行いプランを作成している。本人、家族、関係者を交えて話し合う機会は少なく、家族に意見や要望を聞いても得られないことが多く、意向を反映しているとは言えない。		本人や家族の意向を反映した計画を作成する為に、職員や関係者を交えて話し合える機会が持てるよう働きかけていきたい。
			(外部評価) ご家族に介護計画書を送付し、意見をいただくようにされている。職員の気付き等を出し合い、計画を作成されている。		さらに、ご本人がより良く暮らし続けるための計画作成に向けて、今後も取り組んでいかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			期間が終了する前にスタッフ会において職員間で見直しを行い、状態が変化した場合にも随時見直しを行っている。		
			(外部評価)		
			3ヶ月ごとの見直しと状態変化時は随時の見直しを行なっておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			食事、排泄、暮らしの様子など個別に記録し、変化や気をつけることがあれば申し送りやノートに記入して職員全員が把握するようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人、家族の要望や状況に応じて通院、外泊支援など臨機応変に対応している。		
			(外部評価)		
			ご家族の事情等に合わせ、通院時に職員が同行されている。又、ご家族が事業所に宿泊することも可能となっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 近隣地域の保育所、小学校、中学校とは交流があり協力していただいている。		利用者の意向や必要性に応じていけるよう、ボランティアの方などと協力しながら活動範囲を広げていきたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 地域のケアマネジャー連絡会に参加したり、法人内の他のグループホームと情報交換を定期的に行っている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に地域包括支援センターの職員に参加してもらい連携を図っている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関から定期的に往診してもらっているが、本人や家族の希望に応じて、かかりつけ医に受診できるよう家族と協力しながら支援している。 (外部評価) 協力医が月1回、往診に来てくれるようになっており、いつでも相談できるようになっている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 母体の病院の認知症専門医から診断情報や認知症についての指示や助言をもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 母体の病院より定期的に来訪してもらい、利用者の状態を報告し、相談しながら健康管理を行っている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者の情報を病院に提供し、情報交換に努めている。医師や家族と相談しながら、対応可能な段階でなるべく早く退院できるよう支援している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入居契約時、本人、家族に医療連携の指針に基づき、重度化し看取りの必要が生じた場合の対応などについて説明している。 (外部評価) 事業所では、重度化時の対応、看取りの支援等、方針を示し、関わる人別に役割等を明確にされている。		利用者の状態が変化した場合など、その都度、家族や医師などと話し合い、全員でケアの方針の統一を図っていきたい。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人や家族の意向を踏まえて、主治医と相談しながら、安心して過ごしていけるよう、できることを職員全員で支援していくよう努めている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 移行先へ、これまでの生活状況、支援内容、注意が必要な点など情報提供を確実にを行うよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 利用者を傷つけないよう排泄の声掛けや誘導等はさりげなく行うよう配慮している。全職員が個人情報保護法の理解に努め利用者のプライバシーに関わることを外部の物に対して話さないよう徹底している。(罰則規定有り)</p> <p>(外部評価) 職員は、利用者によく声掛けするように心がけておられる。管理者は、職員に「利用者の立場」に立って対応するよう話しておられる。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 食事やおやつ希望を聞いたり、買出しに一緒に出掛けて選んでもらったり、できるだけ利用者が決めたり選んだりできるよう心掛けている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 利用者の意見を尊重するよう心掛けてはいるが、時間に追われると、業務を優先してしまうことがある。</p> <p>(外部評価) 職員は、利用者のその日の表情等からも状態を把握し、適切な対応ができるよう努めておられる。</p>		<p>現在、利用者から暮らし方の希望等が出されることが少ないようである。日常生活の中でご本人が選んだり決めたりできる場面を増やしていかれてはどうか。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 衣類などは家族に相談して持ってきて頂いたり購入している。2ヶ月に一度散髪デイを設けて、出張理容室を開いている。特別の希望などがある場合には利用者家族に依頼している。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食材切など、出来るだけ一緒に調理を行うようにしている。利用者と職員が同じテーブルを囲んで同じ物を食べて楽しく食事できるよう雰囲気作りを大切にしている。お盆を運んだり、食器洗いなどの片付けを一緒にしている。 (外部評価) 食材の買い物に出かけ、野菜の下ごしらえ等、食事作りに利用者が関わることができるよう声かけされている。お部屋で過ごす時間の多い方も、皆と一緒に食事ができるよう支援されている。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 利用者本人に聞いて、できるだけ希望に沿った飲み物を選んでもらっている。お酒やタバコなどの嗜好品は現在のところ、希望されている利用者がいない。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 利用者一人ひとりの排泄パターンを把握しトイレ誘導を行い、トイレでの排泄を支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴前にバイタルチェックをおこない、体調の良い日はできるだけ入浴してもらえるようにしている。入浴できない日はシャワー浴、足浴、清拭など利用者個々の状態に応じて支援をしている。		夜間帯は事故防止の観点からも実施していないが、職員の増員 + 変則勤務の検討など上層部に挙げている。
			(外部評価)		
			温泉施設の足湯を楽しまれている。入浴されない日には、清拭で清潔を保てるよう支援されている。仲のよい利用者同士で入浴されることもある。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中、利用者一人ひとりの体調や意思に配慮しながら、できるだけ身体を動かして頂き生活リズムを整えている。寝付けないときには温かい飲み物を提供するなど睡眠を促す工夫をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			食事の準備や食器洗い、お盆拭きなどの片付け、洗濯物干し、洗濯物たたみ、掃除など自分から進んで職員と協働している家事が好きなお人には、その都度感謝の気持ちを伝えている。歌やテレビ鑑賞が好きな人など希望に沿って採り入れている。		ワンパターンになりがちなので、利用者の希望に沿った楽しめるプログラムを採り入れて行きたい。
			(外部評価)		
			ゴミ出しをされる方や食後の洗い物や片付け、自室の掃除をされる方もおられる。カラオケを楽しまれたり、調査訪問時には、ケーブルテレビで地元の様子が放映されるのを、楽しく見ておられる様子がうかがえた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			事務所が管理しており、利用者が金銭管理を行えないが家族と相談して、希望に応じて小銭を所持している人もいる。外出時に、買い物体験をしていただくなどの支援をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			利用者の体調や天候に応じて、食材の買い物や散歩、ドライブに誘い、気分転換をできるように外出の支援をしている。		
			(外部評価)		
			お花見や外食等、月に一回、出かける機会を作り、楽しんでおられる。日々、散歩されたり、隣接の保育園の園児が園庭で遊ぶ様子を見られたり、地域の高齢者がゲートボールをされている様子を観戦しておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			訪問希望があった場合は家族にそうだんして、いつでも外出可能なように支援している。花見会など、月一回の野外レクリエーションを企画している。地域の行事や集会にも参加している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者の希望があった場合は、電話をかけて話せるよう支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問時には職員全員が挨拶や話しかけたりして笑顔で歓迎している。気兼ねなく、ゆっくりと過ごしてもらえよう、居室などでお茶を飲みながら話しをしていただくなどの配慮をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 法人内の勉強会や研修会の権利擁護や身体拘束について学び理解している。高齢者ケア部門の総責任者が県の身体拘束委員を務めた経験から適切な指導を受けている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中、鍵をかけず、ドアチャイムを設置して外出の察知に役立っているが、利用者が外出しそうな様子を察知したら、見守り、声掛けを行ったり、一緒に近くを散歩するなど安全面に配慮しながら、できるだけ自由に過ごせるよう支援している。		
			(外部評価) 事業所は、窓が多い造りで、海が見える開放感のある雰囲気となっている。玄関に鍵をかけず、自由に出入りされており、時に、事業所前のグラウンドでゲートボールをされている地域の方が、利用者が気ままに外出されるのを教えてください。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員は介護日誌を記入する際は、ホールの利用者のそばで記録して様子を見守り、把握できるようにしている。夜間は2～3時間おきに巡視している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 洗剤など注意が必要な物品は使用後決められた場所に保管している。薬は利用者個々の薬ケースに保管し、朝昼夕セクションに置き、間違いの無いように気をつけている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 職員はヒヤリ・ハットを記録し共有認識を図っている。事故が発生した場合は事故報告書を作成し、家族への説明と報告を行い、予防対策について全員で対策、検討を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 消防署救急隊員や看護師から応急手当などの定期講習を受けている。全職員が緊急時対応についてのマニュアルを周知している。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の協力で災害避難、誘導訓練、消火器の使い方の訓練を行っている。 (外部評価) 地域が行う津波時の避難訓練に参加された。		地域との連携体制をもっと蜜に図って行きたい。 地元の消防団の協力やアドバイスをいただいたり、又、近所の方達と協力し合えるような働きかけを、すすめていかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 家族に適時に連絡を入れて状態の詳しい説明をしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 個人の介護記録に日々の状態の変化や異常を記録して職員間で共有し、医師の往診時に相談したり、状況により受診に繋げている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者個々の薬ケースを設置したり、服薬一覧表を作成し、薬品名、効能、副作用などを周知するようにしている。服薬時は本人に手渡したり、必要に応じて介助を行い、きちんと服用できているかの確認をしている。状態変化があった場合は、すぐに医師や管理者に報告するようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食事時には汁物を付け、繊維質を含んだ献立を心掛けている。午前、午後のお茶の時間など、こまめに水分補給を行い家事活動などで適度に身体を動かすことで自然排便できるよう取り組んでいる。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後に歯磨きの声掛けを行い、必要に応じて職員が見守りしたり、介助を行っている。義歯洗浄剤を週1回使用して、口腔内の清潔保持を支援している。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 献立は栄養士がチェックした物を使用している。食事や水分摂取状況を介護日誌に記録し職員が情報を共有している。 (外部評価) 昼食の進まない方には、夕食で補えるよう気を付けておられる。ご本人の状態に合わせて、食物を小さく切ったり、プロセッサーを使用し、食べやすいようにされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 医師による定期的な血液検査やインフルエンザの予防接種を実施している。母体の病院やグループホーム協議会での感染症対策研修会へ参加している。感染症予防や対応のマニュアルに沿って予防、対策に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食材は殆ど毎日仕入れるようにして買い置きは出きるだけしない様になっている。まな板や布巾は漂白し、包丁は使用後洗い流して食器乾燥機にかけ、清潔を心掛けている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関へのスロープに沿って花壇を設置し、玄関周りにも季節の花のプランターや植木を置いて雰囲気作りに努めている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>カーテンを利用して光を適切に調整している。居間や廊下にはホームで撮影した利用者の写真を貼って、利用者が自分の住んでいる家だと安心感を持てるような工夫をしている。居間と台所が同じ空間にあり、食事を作っている様子や御飯の炊ける匂いなど生活感を感じられる工夫をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>洗面所に生花を飾っておられ、共用空間には各所に利用者の写真が掲示されていた。介護用の椅子やマッサージチェアも利用されていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ホールにはソファやマッサージチェア、玄関にはベンチを置き、一人で過ごしたり、仲の良い利用者同士でくつろげるスペースを作っている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)			
				入居時に使い慣れた家具、装飾品などを持って来ていただく様案内をしているが、持ちこまれた物が少なく殺風景になりがちなのでホームで撮影した写真などを飾って工夫している。		本人の馴染みの物をもっと置くように家族に働き掛ける努力をし、利用者一人ひとりの希望に沿えるようご家族と相談しながら居室の環境作りを進めていきたい。
			(外部評価)			
			日中は共用空間で過ごされる方が多いようである。居室の壁に写真を貼っておられた。		さらに、ご本人らしい暮らしを支援するために、今後も、居室のしつらえについて、工夫を重ねていかれることが期待される。	
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)			
			事務所に設置してあるエアコンの温度調節装置や換気扇スイッチにて利用者の状態に配慮しながら適切に調整を行っている。各居室には消臭剤を置き、トイレは換気と消臭剤で悪臭が出ない工夫をしている。			
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり						
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)			
				廊下、トイレ、浴室などの要所に手すりやすべり止めを設置している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)			
				居室の入り口には本人の写真を貼ったり、手作りの表札をかけて分かり易いように工夫している。トイレの位置を目線の位置に付けたり、大きくするなど工夫をしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)			
				ベランダや玄関先を利用者が日光浴や外気浴を楽しんだり洗濯物の物干しに活用している。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者との会話の中から欲していることや希望などを聞きだして、それに近づけるよう支援している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食事やおやつの時間などに、テレビの話題や、昔話や世間話などを一緒にしながら、のんびりと過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	リビングでテレビを観たり、気の合う仲間と雑談したり、自室でのんびり過ごしたり、自分のペースで暮らしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	野外レクリエーション、誕生日や季節の行事祝いなど、利用者の嬉しそうな笑顔が沢山見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日の食材の買い物や、散歩などに出掛けられる。体調や天候を考慮して野外レクなどでドライブにも出掛けている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎朝のバイタルチェックや、定期的に主治医の往診や看護師の訪問看護を受けていて、異常があればすぐに指示や受診をしている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の体調を考慮して、出来る事は出来るだけ自分でやって頂き、必要なことは、さりげなく支援するように心掛けている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	来訪時、利用者の日常の様子を伝えたり、何気ない会話をして信頼関係を築くように努めている。あまり面会に来られない家族には手紙や電話などで状況を伝えている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	小学生、保育園児、ボランティア、相談員の方の訪問が時々ある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが拡がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えている (自己 評価) ③あまり増えていない 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 4 全くいない	推進会議メンバーとの繋がりは深まったと感じるが、地域との直接的な目に見える拡 がりは感じられない。
98	職員は、生き生きと働けている (自己 評価) ①ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	いつも利用者に対して、笑顔で自分の家族のように接している。勤務変更の際にも、 お互いに助け合って仕事に取り組んでる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者は毎日笑顔で過ごしておられる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 評価) ①ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族の来訪時などでの会話で不満はなく、苦情などあった場合は直ちに問題点などを 調べ報告、改善するようにしている。概ね満足していると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

かざぐるまは宇和海に面した温暖な気候の地で、利用者の方々が毎日のんびりと安心して笑顔が絶えない生活ができるように支援しております。地域の保育所、小学校との交流も盛んです。利用者の方々も交流を通じて、可愛い子供達の元気な声や姿に、自身のお孫さんのことを思い出したり、子育ての頃にタイムスリップしたりと良い刺激をたくさんいただいています。